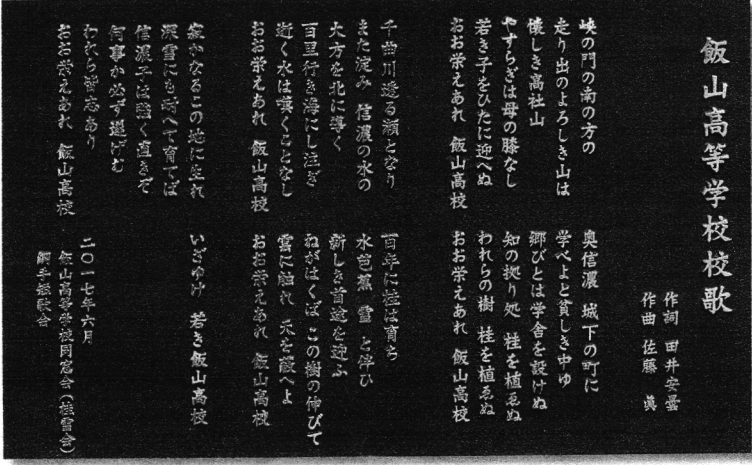
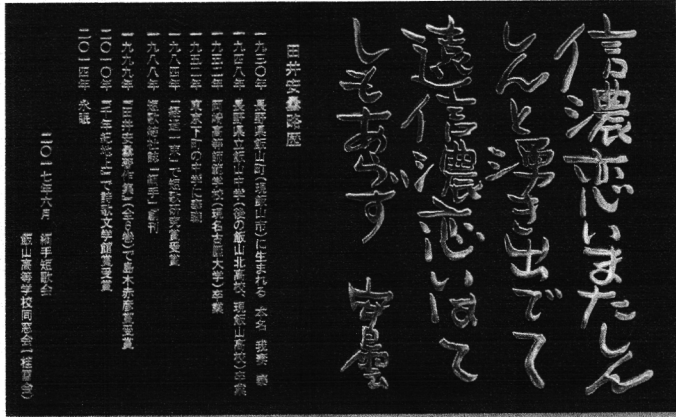


田井安曇作詞飯山高等学校校歌碑 田井安曇歌碑 除幕式

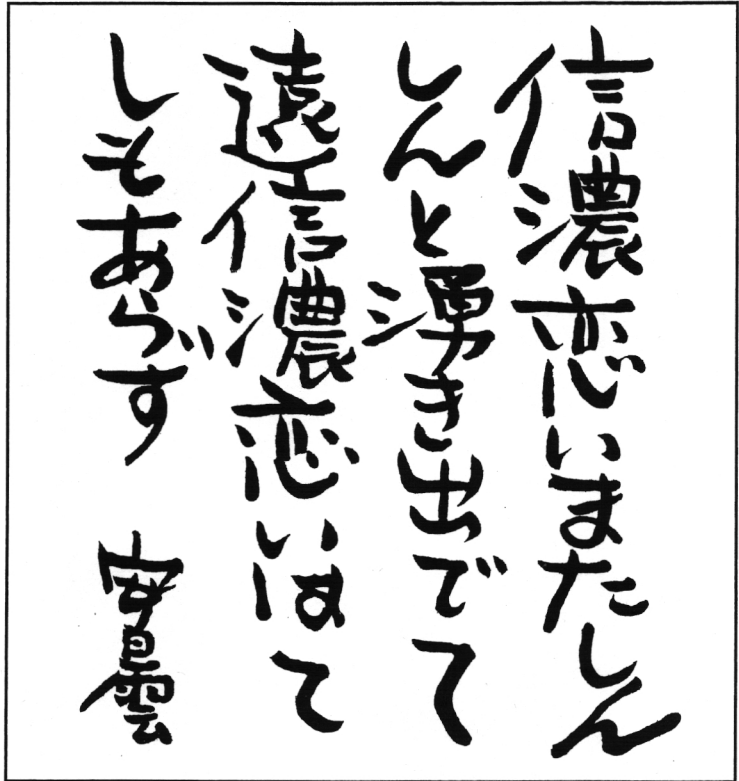
平成29年6月24日(土) 14時～



次第 (敬称略) 進行 清水久樹教頭

- 1 開式の言葉 (常田新司PTA会長)
- 2 経過報告 (米澤光人)
- 3 学校長挨拶 (渡辺藤夫)
- 4 桂雪会会長挨拶 (森 司朗)
- 5 綱手短歌会より挨拶 (井上美地)
歌碑の歌について (柳川創造)
- 6 来賓挨拶
宮本衡司 (長野県議会議員・桂雪会副会長)
長瀬 哲 (飯山市教育長)
- 7 除幕 (学校長、同窓会長、県議、PTA会長、綱手)
- 8 閉式の言葉 (関 保典 桂雪会副会長)

長野県飯山高等学校
長野県飯山高等学校同窓会(桂雪会)
綱手短歌会



高社よ、千曲よ、ふるさと信濃の山を恋い、
 信濃の川をかなしむ心は沈々と、また騒々とぼくたちの
 心を捉えて離さない。田井安曇のたましいよ、
 いつまでもこの碑の立つ丘に留まれ。

田井安曇歌集

- 一九六七年 「我妻泰歌集」
- 一九七四年 「木や旗や魚らが夜に歌った歌」
- 「天―乱調篇」
- 「たたかいのししむらの歌」
- 「水のほとり」
- 一九七六年 現代歌人文庫「田井安曇歌集」
- 一九七九年 「右辺のマリア」
- 一九八〇年 「経過一束」
- 一九九〇年 「田井安曇作品集」
- 一九九五年 「春の星」
- 一九九八年 「山口村相聞」
- 二〇〇二年 「弥勒」
- 二〇一〇年 「千年紀地上」詩歌文学館賞受賞
- 二〇一六年 「千年紀地上以後」

田井安曇 略歴

- 一九三〇年 長野県飯山町（現飯山市）に生まれる 本名 我妻 泰
- 一九四八年 長野県立飯山中学（後の飯山北高校、現飯山高校）卒業
- 一九五二年 岡崎高等師範学校（現名古屋大学）卒業
- 一九五二年 東京下町の中学に奉職
- 一九八四年 「経過一束」で短歌研究賞受賞
- 一九八八年 短歌結社誌「綱手」創刊
- 一九九九年 「田井安曇著作集」（全6巻）で島木赤彦賞受賞
- 二〇一〇年 「千年紀地上」で詩歌文学館賞受賞
- 二〇一四年 永眠

田井安曇著作集

- 一九八〇年 評論集「現代短歌考」
- 評論集「拍車と準繩」
- 人と作品シリーズ「近藤芳美」
- 一九八九年 「ある歌人の生涯」
- 一九九二年 「定本 三ヶ島葎子」
- 一九九九年 「田井安曇著作集」（全6巻）
- 島木赤彦文学賞受賞
- 埼玉歌人会大賞受賞

二〇一七年六月 綱手短歌会
 飯山高等学校同窓会（桂雪会）